

## 鳥取県サプライチェーンマネジメント推進フォーラム 設立の趣旨について

鳥取県の民有林人工林は、46年生以上が約7割を占めており、木材として利用可能な収穫期を迎えています。

このような中、県内の林業・木材産業・バイオマス発電事業者等の関係者が、素材生産量の確保と森林資源の持続的循環利用の推進を目的とした「鳥取県森林（もり）づくり協議会」を設立し、間伐主体から皆伐再造林による素材生産の取組を開始しており、県もこの取組を進めるため令和2年度から再造林に要する経費の支援を拡充しています。

また、県では、県産材を活用した住宅の建設等に要する資金の一部を助成する「とっとり住まいる支援事業」等の施策を実施し、住宅や民間企業等における県産材の利用を推進しています。

加えて、近年、自然災害等の被害が深刻になる中、森林の持続的循環利用による森林の多面的機能の発揮は、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献するとともにグリーン社会の実現に向けた取組として高い関心が寄せられています。

しかし、県内の人工林では毎年約70万m<sup>3</sup>の蓄積が増加するのに対して、平成30年次の素材生産量は30万m<sup>3</sup>に留まっていることや、ジャストインタイムでの製材品の納品が難しいとの声が聞かれる等、県産材の利用に関する様々な課題があることで、充実する森林資源が十分に利用されていない状況にあります。

以上のことから、素材生産、製材加工、木材流通、運送、建築及び設計等の川上から川下までの各関係者が協力・連携し、ICT等を活用して安定的な県産材の供給体制の整備と施業の効率化による供給量増加を推進していくことを目的として「鳥取県サプライチェーンマネジメント推進フォーラム」を設立します。

令和2年11月11日

第1回鳥取県サプライチェーンマネジメント推進フォーラム  
出席者一同